

第4回やまなしスポーツエンジン（仮称）設立準備委員会 概要

1. 日時

令和3年10月5日（火曜日）午後2時00分～午後3時30分

2. 場所

山梨県立図書館多目的ホール

3. 出席者

○ 構成員

中山哲郎、五十嵐雅彦、遠藤俊郎、金子政一、清水正、高原幸次、
田部純一、辻昌彦、土屋淳、内藤裕志、入戸野文隆
欠席者：玉川武年

※座長以外は五十音順、敬称略

○ 山梨県

スポーツ振興局理事

4. 会議概要

- ・ マーケティングの観点から行くと、ターゲットがかなり幅広になっている。今年度中にスポーツ振興局内で絞っていくのか、もしくは、フェーズ1の中の1年目で戦略や事業設計を策定していくのかというところも重要。
- ・ イベントをやると県内にお金が落ちないということが多々ある。データの調査・分析のところでは、各イベント、特に県が補助するイベントにおいては、お金がどこにどう流れたのか、詳細に拾っていくべき。
- ・ 自然環境、キャンプ、登山、マウンテンバイクなど、稼ぐということだけでなく、気が付かないものも沢山あるので、そういったところをSNSでどんどん発信するという事は良いことで、包括的にスポーツを考えなければならない時代になっている。それを山梨県が全国に先駆けてやるのであれば面白い。
- ・ アセットとして、ガイドが一つの切り口になるのではないか。こだわりをもって良いコンテンツを個人で提供してくれる方々がいる。人はすごいコンテンツだと思っていて、人をアセットとして見出すと相乗効果が生まれると思う。
- ・ 目標としているのは地域が稼ぐということなので、キャッシュポイントはどこなのか、どこに作るのかということだと思う。企業を入れ込んでテストベットの的にもやることもありだと思う。
- ・ 事務局の主体が県職員となっているが、この手のことは苦手な分野。サポートメンバーの協力や人材派遣が重要。